

研究課題名	長崎県における外来通院中の高齢慢性心不全患者の臨床経過に関する研究
所属(診療科等)	長崎みなとメディカルセンター 心臓血管内科
研究責任者(職名)	武野 正義 (主任診療部長)
研究期間	2021年 10月 21日 ~ 2028年 12月 31日
研究目的と意義	<p>* 背景 心不全とは、心臓が悪いために、息切れやむくみが起こり、だんだん悪くなり、生命を縮める病気です。日本全体の心不全患者さんの数は、2005年で約100万人、2020年で120万人達しています。一度心不全になった患者さんは、過剰な塩分摂取や、肺炎などの感染症、お薬の飲み忘れなどが原因で、急激に呼吸が苦しくなることがあります。心不全が進行しないためにも予防が非常に重要です。</p> <p>* 目的 本研究では、外来通院中の慢性心不全患者さんにおける、心不全の原因や、治療内容、治療経過、またその要因を検討するために、急性病院の循環器外来通院中の患者さんを対象としたレジストリーを構築して、県内の心不全患者さんの治療や治療経過の実態の把握、予後に寄与する因子の検討を行います。</p> <p>* 意義 本研究を通して、県内の慢性心不全治療の実態を明らかにし、リスク因子の把握や、治療内容等を把握し、診療の質や治療経過の改善に繋げることを期待しています。</p>
研究内容	<p>●対象となる患者さん</p> <p>対象となる患者さんは下記を全て満たす方です。 1) 同意取得時の年齢が65歳以上の男性・女性 2) 診療録上、心不全の診断で通院施設に5年以内に心不全入院歴のある方 3) 循環器内科を中心に県内の長崎県内の2次、3次救急医療機関に通院中の方</p>
	<p>●利用する情報</p> <p>診療録に記載の、生年月、性別、国籍、生活習慣(喫煙歴)、生活環境、心不全入院歴、既往症・合併症、心不全の状態、治療薬等の情報を入力します。また、肺炎球菌ワクチン接種、インフルエンザワクチン接種の有無を把握します。その後、2年間の中で、何らかの入院(心不全以外を含む)があった場合には、入院日の他、入院に至った原因の病名等の収集を行います。また、同意を頂きました日から2年間経過した際も同様に、2年間での入院の有無や、入院に至った原因、その際の診療録の医学的な情報、治療経過の情報を診療録から抽出します。</p>
	<p>●研究方法</p> <p>長崎大学病院循環器内科を中心に県内の2次、3次救急医療機関約8施設で実施します。共同研究機関の対象患者さんの情報を用いて、心不全の治療経過との関連を調べ、リスク因子などの解析を行います。また収集した情報に関しては、個人情報の取り扱いに留意し、匿名化した上で、共同研究機関並びに共同研究者が属する京都大学予防医療学分野に提供予定です。</p>
問い合わせ先	<p>所属：長崎みなとメディカルセンター 研究開発センター</p> <p>住所：長崎市新地町6番39号</p> <p>電話：095 (822) 3251</p> <p>受付時間：月～金 9:00～17:00 (祝・祭日を除く)</p>